



**Official TEST and
Rookie Driver Tryouts Report
2025/12/10～11 SUZUKA**

2024 年に続き 2 年連続で 2025 チームチャンピオン獲得した DOCOMO TEAM DANDELION RACING。その 2025 シーズン最終戦鈴鹿から僅か 2 週間あまり。2026 年シーズンに向けた戦いは、鈴鹿合同テスト／ルーキードライバーテストからすでに始まっている。

このテストから、カーボンニュートラル E10 低炭素ガソリンが使用され、新たなエンジンコントロールユニット（以下 ECU）も採用されている。

テスト 1 日目、午前中の走行では ECU のセットアップに時間を要し、セッション残り 20 分でようやくテストを開始。それでも午前の走行を牧野選手 2 番手、太田選手 3 番手タイムで終えた。午後のセッションでは、午前中の ECU に起因する原因か、牧野選手のギアボックスにトラブルが発生してしまい、またもや走行できない状態に。太田選手は順調にテストメニューを進めるものの、チームとして貴重な時間をロスしてしまった。

テスト 2 日目、初日のロスを取り戻すべく、ジオメトリーテスト、ダンパーセットアップ、空力関連のテストなど、両ドライバーとも多くのメニューに積極的に取り組んだ。

スピンやクラッシュによる赤旗中断も数回あったが、チームはテストメニューを順調に消化。セッション残り 10 分には、各陣営本番さながらのアタックシミュレーションを繰り広げ、牧野選手は 2 位タイムをマーク。太田選手も 5 位タイムを記録し、昨年に引き続き好調さをアピール。2 日間の総合順位 牧野選手 4 位、太田選手 7 位で 2025 年最後の公式テストを締めくくった。

5：牧野任祐 選手 テスト 1 日目 4 位、テスト 2 日目 2 位、総合 4 位

テスト初日は ECU やギアボックスのトラブルが続いて貴重な時間を失ってしまいました。2 日目はテストメニューを予定通り進める事が出来、昨年の反省点もふまえて多くを理解することが出来ました。スーパーフォーミュラのようなハイレベルになると、革新的に良くなるという事はなかなかないのですが、その中でもデータを積み重ねて総合的によりレベルアップするために有意義なテストになりました。

6：太田格之進 選手 テスト 1 日目 7 位、テスト 2 日目 5 位、総合 7 位

初日にトラブルはありましたが、2 日間様々なテストメニューを常に高いレベルで順調に進めることが出来ました。来シーズン前半の開催スケジュールはこれまでと変わりますから、気候的な部分も意識して進めました。来季に向けて自信を持って臨めるよう、オフシーズンもチームと共にこれまでの経験とデータを再検証します。